

2023 年度事業報告書

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

公益社団法人 企業市民協議会

1. 事業活動の概況

(1) 国際貢献事業に関する参加協力（定款第 4 条第 1 項第 1 号関係）

① プロジェクト選考委員会の開催（8 月 29 日、2024 年 2 月 5 日）

理事会より諮問のあった国際貢献事業候補案件を審査し、新たに以下の 8 件を CBCC 国際貢献事業として選定した。

- 日系アメリカ人の歴史を未来に伝えるための全米日系人博物館
リニューアル・キャンペーン
- ロンドン・ビジネス・スクール「フォーエバー・フォワード・ファンド」
- ワシントン大学「グローバル・オポチュニティ・ファンド」
- 日韓・韓日未来パートナーシップ基金の設置と「政治・経済・文化等の
未来志向の日韓関係の構築に向けた共同研究ならびに事業の実施』および
「関係諸団体と連携した、未来を担う若手人材交流の促進』等の日韓
共同事業
- 日米協会 100 周年記念事業・将来の日米民間交流を支える中堅・若手の
育成を目指す基金（日米協会未来基金）
- ジャパン・ソサエティー「次世代のための日米の懸け橋」
- 2024 年第 3 回 ABAC（APEC ビジネス諮問委員会）会議の日本開催
- テキサス大学オースティン校「What Starts Here キャンペーン」

この他にも、「AEPW によるプラスチック廃棄物ゼロ活動への参加協力」
「コロンビア大学ビジネススクール日本経済経営研究所『進化し続ける世界
経済システムにおける日本の役割』」の募金期間の延長、「中国大学生の訪日
視察事業」のプロジェクト実施期間の延長、「日中交流促進実行委員会・実施
事業」の用途の変更ならびにプロジェクト実施期間の延長を承認した。

② 認定プロジェクトの推進状況

1989～2023 年度に認定した国際貢献事業計 165 件のうち、以下 9 件に対す
る企業・個人からの寄附金を送金した。

- 中国大学生の訪日視察事業
- さくら女子中学校プロジェクト
- Alliance to End Plastic Waste（AEPW）によるプラスチック廃棄物ゼロ活動

への参加協力

- グローバルコミュニケーター人材育成プログラム
- コロンビア大学ビジネススクール日本経済経営研究所『進化し続ける世界経済システムにおける日本の役割』
- ハワイ大学日本ーハワイ社会経済イノベーションプログラム
- イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校「With Illinois」キャンペーン
- パリ日本文化会館における「SDGs 貢献活動」および「日本ブランド向上活動」
- 日韓・韓日未来パートナーシップ基金の設置と「政治・経済・文化等の未来志向の日韓関係の構築に向けた共同研究ならびに事業の実施」および「関係諸団体と連携した、未来を担う若手人材交流の促進」等の日韓共同事業

(2) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関する情報の収集提供
(定款第4条第1項第2号関係)

① ウェブサイトを通じた情報提供

CBCC ウェブサイト（日英両文）上にて当会の活動を紹介し、情報提供に努めた。

(3) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関するシンポジウム、
セミナー、懇談会等の開催（定款第4条第1項第3号関係）

① シンポジウム、セミナー、懇談会の開催

開催日	会 合 名	上段：講師・来賓、下段：テーマ
7月21日	グローバル・サプライチェーンにおける人権尊重の取組みに関する懇談会	① ジェニー・ヴォーン BSR 人権担当マネジング・ディレクター ②リチャード・ウィングフィールド BSR テクノロジー・人権担当 ディレクター ----- ①サプライチェーンにおける人権デュー・ ディリジェンスに関する企業の実践に おける課題と対応 ②生成 AI と人権をテーマ

8月30日	EUおよびドイツにおける人権デュー・ディリジェンス推進に関する懇談会	ベッティーナ・ブラウン 「ドイツ人権研究所」ビジネスと人権に関する政策アドバイザー
		ドイツで2023年1月から適用開始となった国内外のサプライチェーンにおける環境・人権デュー・ディリジェンスを義務づける法律の推進状況や、EUの「企業サステナビリティ・デュー・ディリジェンス指令案（CS3D）」の概要・審議状況等
10月17日	エルコ・ファン・デル・エンデン Global Reporting Initiative（GRI）事務局長との懇談会	エルコ・ファン・デル・エンデン GRI 事務局長
		サステナビリティ報告・非財務情報開示をめぐる最新の動向と今後の展望、それらを踏まえたGRIの取組み・戦略等
12月21日	ステファン・クレッツ CSR ヨーロッパ専務理事との懇談会	ステファン・クレッツ CSR ヨーロッパ専務理事
		EUの「企業サステナビリティ・デュー・ディリジェンス指令案（CS3D）」をめぐるEUの検討状況をはじめ、グローバル・サプライチェーン・マネジメントの好事例を中心に、欧州企業の取組み状況
2024年 3月29日	アーロン・クレマー Business for Social Responsibility（BSR）プレジデント&CEOとの懇談会	アーロン・クレマー BSR プレジデント&CEO
		2024年にビジネス・リーダーが取り組むべきサステナビリティ分野の重要課題やサステナビリティが新たに創出する戦略的機会・パートナーシップ・イノベーション等

② 企画部会の開催（2024年2月29日）

2023年度の活動状況について報告するとともに、2024年度の活動方針および活動計画につき意見交換を行った。

(4) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関する調査研究
(定款第4条第1項第4号関係)

サステナビリティ対話ミッションの派遣延期

10月30日～11月3日にフランスのパリに派遣を予定していたサステナビリティ対話ミッションについて、諸般の事情により派遣を延期することとした。

(5) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関する内外関係機関等との交流（定款第4条第1項第6号関係）

① Business for Social Responsibility（BSR）との協力

BSR とアグリーメントを締結し、セミナーの開催等に関し協力を得たほか、ニュースレター（BSR Insight+）等を通じてサステナビリティ関連のグローバルな動向に関する情報提供を受けた。

② サステナビリティ経済導刊（旧 WTO 経済導刊）との協力

2008年より毎年、中国のCSR推進組織であるサステナビリティ経済導刊が主催する「Golden Bee 国際CSRフォーラム」を後援するとともに、スピーカーを派遣している。2023年度には、6月8～9日に北京で開催された第18回会合に関企画部会長が「日本の産業界によるサステナビリティ推進の取組み」と題して、オンラインで講演を行った（事前収録）。

また、同団体が12月8日に北京で開催した「第16回中国におけるCSR報告に関する国際会議」において、関部会長が「日本におけるサステナビリティ・CSR報告に関する最新動向」と題し、オンラインで講演を行った（事前収録）。

※サステナビリティ経済導刊（旧 WTO 経済導刊）

2002年に創設された中国商務部が主幹する月刊経済紙。2001年のWTO加盟後、中国国内でWTOの規制やルールに対する関心が高まったことを受けて、世界経済が中国経済へ与える影響や世界経済の動向などを国内で広めることを目的としている。

③ CSR ヨーロッパとの協力

ブリュッセルに本部を置くCSRヨーロッパとの間で、相互に情報提供等を行った。

2. 総会・理事会

(1) 総会

第16回総会（2023年度定時総会）の開催（6月12日）

会員72名の出席（オンラインでの出席および委任状による出席を含む）を得て開催された。西澤会長が議長となり、以下議案についていずれも異議なく可決・承認された。また、議案審議および報告を終えた後、高崎経済大学学長の水口剛氏より、「日本におけるサステナブルファイナンスの動向と企業が取り組むべき課題」と題して講演を頂くとともに、懇談した。

第1号議案：2022年度事業報告書案の承認を求める件

第2号議案：2022年度財務諸表等案の承認を求める件

第3号議案：理事の退任および補充選任について

第4号議案：監事の退任および補充選任について

(2) 理事会

① 第 41 回理事会の開催（5 月 15 日）

全理事および全監事の出席（オンラインでの出席を含む）を得て開催された。西澤会長が議長となり、以下議案についていずれも異議なく可決・承認されたほか、業務執行理事による自己の職務執行状況報告等があった。

第 1 号議案： 2022 年度事業報告書案の承認を求める件

第 2 号議案： 2022 年度財務諸表等案の承認を求める件

第 3 号議案： 2023 年度定時総会招集の件

第 4 号議案： 入会申込みに関する件

② 第 42 回理事会の開催（8 月 10 日、書面審議）

定款第 33 条第 2 項に定める「決議の省略」に基づき、CBCC 国際貢献事業候補案件（計 8 件）をプロジェクト選考委員会に諮問することについて、理事会の決議があったものとみなされた。

③ 第 43 回理事会の開催（1 月 16 日、書面審議）

定款第 33 条第 2 項に定める「決議の省略」に基づき、CBCC 国際貢献事業候補案件（計 5 件）をプロジェクト選考委員会に諮問することについて、理事会の決議があったものとみなされた。

④ 第 44 回理事会の開催（3 月 22 日）

全理事（但し、午後 4 時 30 分以降は 9 名）および全監事の出席（オンラインでの出席を含む）を得て開催された。西澤会長が議長となり、以下議案についていずれも異議なく可決・承認されたほか、業務執行理事による自己の職務執行状況報告等があった。

第 1 号議案： 2024 年度事業計画書案の承認を求める件

第 2 号議案： 2024 年度収支予算書案の承認を求める件

第 3 号議案： 入会申込みに関する件

以 上